



ドミニカ共和国



WELCOME TO DOMINICAN REPUBLIC

ドミニカ共和国は、カリブ地域でもっとも多様性に富んだ島国です。面積は4万8442km²超と、同地域の中で2番目に大きな国で、ハイチ共和国と共有しているイスパニョーラ島の最東部3分の2を占めます。人口はおよそ1000万人で、年間を通じて熱帯の陽気な気候を享受しています。平均気温は25℃～31℃で、11月から4月が比較的涼しく、5月から10月がもっとも暖かい季節となっています。

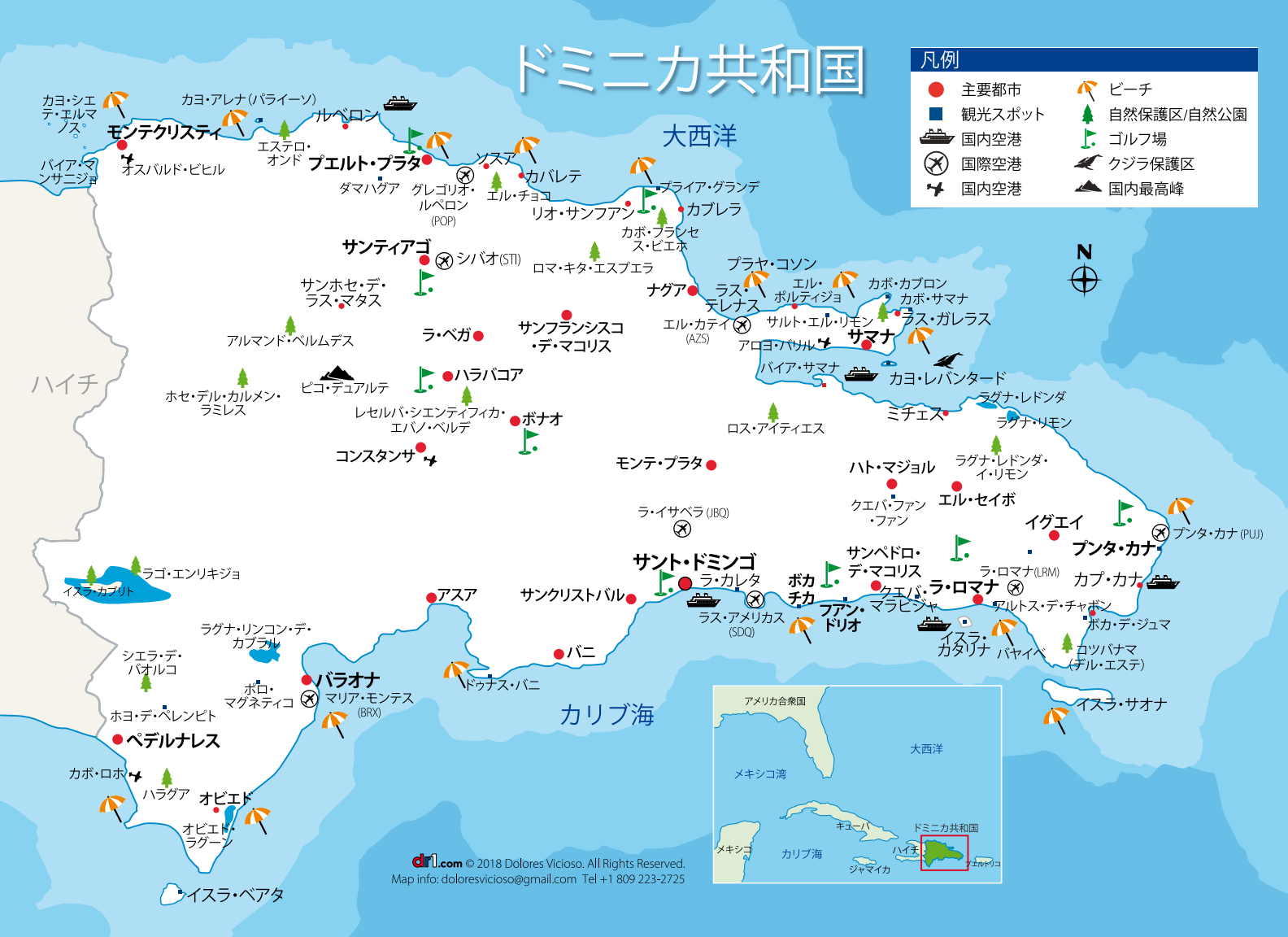
北は大西洋、南はカリブ海に囲まれた私たちの緑豊かな熱帯の島の沿岸線は1400km以上に及び、世界でも最高のビーチ、傑出した宿泊施設とともに数多くの娯楽・リクリエーションのオプションが点在しています。温かくもてなし上手な国民で知られるこの国は、唯一無二の旅先です。ここでは、スリル満点のメレンゲのリズムに合わせて踊ったり、ぜいたくなホテルやエコロッジでリラックスしたり、「アメリカ大陸最初の植民都市」の歴史ある遺跡を散策したり、美味なドミニカ料理を楽しんだり、国立公園、山、川、ビーチで胸躍る冒険に参加したりすることができます。

ドミニカ共和国は、このような幅広い魅力とさまざまな環境を備え、万人のニーズに応えます。世界トップの設計者らが手掛けた26にも及ぶ見事なゴルフコースがあり、チャレンジングなゴルフをプレーしようとする旅行者にとっても最高の目的地となっています。一方で、ロマンチックなパーティーをあらゆるスタイルと予算に応じてアレンジしたり、会議、カンファレンス、報奨旅行を企画したりすることもできます。他方、ドミニカ共和国以外ではできない体験や、他にも多くのものを提供します。

8つの国際空港を通じたスムーズなアクセスによって、楽園の探索が今だかつてないほど容易にできるようになっています。このすばらしい国を知り、一生の思い出を創りましょう。

ドミニカ共和国

●	主要都市		ビーチ
■	観光スポット		自然保護区/自然公園
	国内空港		ゴルフ場
	国際空港		クジラ保護区
	国内空港		国内最高峰



サントドミンゴ



ドミニカ共和国の首都であるサントドミンゴは、カリブ地域で最も文化的に豊かで、おそらくもっとも活気に満ちた都市であり、植民地時代の栄華をすべて今に残しています。旅行者は、歴史ある石畳の道にたたずむコロンIALな建築物とモダンなホテルの魅力や、ドミニカおよび世界の料理のグルメ向けレストランのガストロノミー（美食）に心を奪われます。アメリカやヨーロッパからの多くのブティックや認知度の高いチェーン店を擁したショッピングモールは、観光客も地元民も同様に惹きつけます。

サントドミンゴの植民都市は、その歴史的・文化的価値と、豊富な美術館・博物館、アート・ギャラリーや劇場ゆえに、1990年にユネスコの世界遺産に認定されました。これらすべてによって、外国からの旅行者も地元の人々も、数えきれないほどの文化的体験をすること間違いありません。

植民都市

植民都市の石畳の道を歩きながら過去へと旅し、あなたの想像力を開放して、かつて住んでいた海賊や入植者と一緒に歩きましょう。バルトロメ・コロンブスとディエゴ・コロンブス（クリストファー・コロンブスの弟と息子）が建設した新世界最古のこの都市は、築100年のカテドラルや、病院、大学、修道院に加え、歴史的意義をもつ貴婦人通り（CALLE LAS DAMAS）といったアメリカ大陸における当初の構造を維持しています。これらは良い状態に保存され、かつゲストに開放されており、旅行者を招き入れます。

アートと歴史

アメリカ大陸で一番最初に建設された街、そしてドミニカ共和国の首都として（「2010年米州文化首都」にも選定）、サントド

ミンゴには、目覚ましい数の美術館・博物館、歴史的な跡地、記念碑、アートギャラリー、文化・音楽のスペースなどが集まっています。サントドミンゴに位置する植民都市は、ユネスコの世界遺産であり、アメリカ大陸最初の街です。この街には、アメリカ大陸で最古の街道、病院、大学、修道院、カテドラルがあり、また、かつてスペイン人のコンキスタドーレス（征服者達）が住み、行き来していた古いビルや公園、場所があります。

植民都市の至るところに存在した美術館・博物館は、さまざまな時代や宗教の時代があったオブジェ、書物、キャンバス、彫刻、衣装、家具に映し出されたドミニカ人のアイデンティティーの一部を披露します。コロンブス宮殿(Alcázar de Colón)、アメリカ大陸初の大聖堂(Catedral Primada de América)、ロス・ドミニコス修道院(Convento de los Dominicos)、造幣局(Casa de la Moneda)、ニコラス・デ・オバンド邸(Casa de Nicolás de Ovando)、トスタード邸(Casa del Tostado)、バスティダス邸(Casa de Bastidas)、ロイヤルハウス美術館(Museo de las Casas Reales)、国立霊廟(Panteón Nacional)などがその例です。

その他重要な美術館・博物館や歴史的建築物には、国父の祭壇(Altar de la Patria)、フアン・パブロ・ドゥアルテ邸(Casa de Juan Pablo Duarte)、市庁舎(Palacio Consistorial)、ボルヘジャ宮殿(Palacio de Borgellá)、コロンブス公園(Parque Colón)に加え、カルメン教会(Iglesia del Carmen)、聖クレア教会・修道院(Iglesia y Convento Santa Clara)、ラス・メルセデス教会(Iglesia de Las Mercedes)、レヒーナ・アンヘロラム教会(Iglesia de Regina Angelorum)、聖バルバラ教会(Iglesia de Santa Bárbara)などの聖地があります。



プンタ・カナ

カリブ地域で最長級の白い砂浜の海岸線の一つ(圧巻の48km)に恵まれ、空に届くようなココヤシがアクセントのプンタ・カナは、休息とリラクゼーションの海沿いの地です。大西洋とカリブ海が出会うこの場所では、最北端のウベロ・アルトから南のカップ・カナまで、オールインクルーシブリゾートと隠れ家的ブティックホテルが、モダンな海辺の生活の気まぐれや心地よさを提供します。家族連れは、子ども向けミニチュアの娯楽施設やウォーターパークを楽しみます。その一方でカップル限定のリゾートは、夢のような結婚式の舞台を備えており、浜辺のひっそりとした宿が、滞在を非常にロマンチック

なものとしします。ただしプンタ・カナは、太陽のもとで楽しんだり、やわらかな砂がつま先をかすめたり、玉虫色の透き通った海で泳いだり、釣りをしたり、水中の生物や難破船の探索ダイビングをしたりするだけの場所ではありません。ゴルファーの目的地でもあり、10のゴルフコースが海岸沿いのいたるところにあります。豪華なマリナーや高級ダイニングを取りそろえた海辺の息抜きの地であるとともに、カリブ地域で唯一のシックスセンスなど国内トップクラスのスパが集まるウェルネス地域でもあります。



ラ・ロマーナ



ポスターにふさわしいカリブの海岸線から世界有数のゴルフコースまで、自然の豊かさあふれるラ・ロマーナは、ドミニカ共和国でもトップの観光目的地となっています。数々のサトウキビ畑が、ドミニクスからバヤイペまで途切れることのない白い砂浜へとつながっています。コトババナマ国立公園内の洞穴があふれる森林には、新鮮な湧き水とタイノ族の壁画が存在します。沖合にあるサオナ島、カタリーナ島、カタリニータ島は、手つかずのサンゴ礁に面したカメの巣作り領域に囲まれ、一方で、浅部にも最深部にも、海洋生物が群がる難破船が眠っています。

かつて、アメリカ大陸で最大のサトウキビ製造工場が、ラ・ロマーナにその本拠地を置いていました。1974年には、そのオーナーらが事業多様化の一環として、豪華なカサ・デ・カンポ・リゾートをオープンし、観光業に進出しました。セレブご用達のこのリゾート施設は、受賞歴のあるピート・ダイが設計したゴルフコースのある目的地として名声を博しています。またその後、16世紀の地中海の村を見事に再現したアルトス・デ・チャボンも近隣にオープンしました。チャボン川を見下ろし、娯楽でにぎわうこの施設にはギリシャ風の野外円形劇場もあり、ここではグラミー賞受賞アーティストらが毎年パフォーマンスを行っています。

プエルト・プラタ



ドミニカ共和国における観光の発祥地であるプエルト・プラタは、引き続き迫力満点の目的地です。海、山、緑豊かな溪谷、川、そして数多くのビーチが組み合わさったその風景は、壮大で果てしないものとなっています。この肥沃な土壌で、カカオやコーヒーの木が育ち、地中には世界でもっとも透明度の高いアンバー（こはく）が埋まっています。

1492年、知識豊かな探検家であったクリストファー・コロンブスは、自身の船からこの北部大西洋沿岸の海岸をいちべつただけで、この海岸が発見に満ちたものであることを知り、最終的には金鉱床を見つけ出します。雲がイサベル・デ・トレス山の上でかすかに光ってプエルト・プラタの広大な青い海岸線を照らす光景に魅了され、彼はこの地域を「銀の港」（プエルト・プラタ）と名付け、地域の先住民であるタイノ族とスペイン人らが混在したコミュニティのあるラ・イザベラに定住しました。そしてアメリカ大陸で初めての教会と、自身の最初の家を建てました。コロンブスの軌跡をたどり、現在では国立公園の一部となっているこの考古学的遺跡を見学することができます。

ドミニカ共和国の北東海岸から突き出て海に延びる自然の安息地サマナ半島は、16世紀と同様、今日でも誰もあこがれてす。海賊はこの半島で、ヤシの生い茂った緑濃き森林、隔離されたビーチ、隠れた洞窟に身を隠しました。またヨーロッパ軍とハイチ軍は、保護された深水の湾をめぐる競い合いました。

「サマナ」（半島全体を指すのにしばしば略してこう呼ばれる）へのアクセスは、今日では陸からも空からも便利になっています。しかしそれにもかかわらず、ここは野生のビーチやココナッツプランテーション、熱帯雨林からなる、ドミニカ共和国の人里離れた楽園へのエスケープであり続けています。その山や溪谷がおりなす起伏が、大西洋に流れ込む水晶のような川を複数形成し、その川は、この半島の岩だらけの海岸線全体を取り囲む光り輝く白い砂浜に滝となって落ちます。毎年サマナ湾を訪れる1500あまりのザトウクジラは、まるで訪問客さながら、こ

サマナ

の自然のすばらしさを鑑賞しているかのようです。この巨大な哺乳類は、毎年ドミニカ共和国のこの特別な奥まった場所に戻って伴侶を探し、繁殖し、このこの壮大な熱帯の景色を浴びます。サマナの美しい眺めの湾での季節限定クジラ見学ポートツアー以外にも、エコツーリズムのアドベンチャーがすぐそばでできます。ラス・テレーナスでのボディボードやカイトサーフィン、ロス・アイティセス国立公園でのトレッキング、バードウォッチング、洞窟探検、エル・リモン滝を目指すキャニオニングや乗馬、90mの高さの崖下に広がる壮大な白い砂浜あるいは沖合のカジョ・レバンタード島へのボート巡りなどです。

文化

ドミカ文化は、その土地そのものと同じくらい、多様で色彩豊かです。この文化は、国の発展にともない寄り集まってきた様々な起源を受け継いだものから生み出され、人々の文化的・社会的な基礎を形成しました。

ドミカ共和国の歴史が魅力的な発展を遂げるにあたり、数多くの民族が混ざりあい、そのユニークで快活な文化を形成しました。ヨーロッパ人、アフリカ人および先住民のタイノ族による影響が、国のアート、音楽、ガストロノミー、スポーツ、宗教に織り交ざり表現され、これらすべてが、国民のアイデンティティー形成を支えています。

カーニバル

ドミカ共和国のカーニバルは、その文化とアイデンティティーの祝典の中でもっとも活気に満ちたものです。この機会には、あらゆる年齢と地域のドミカ人が地元あるいは近隣のカーニバルが開催されている街の街頭に繰り出し、その家族や愛する人々と共にパレードを楽しみます。

2月の毎週日曜日は、ドミカ共和国のあらゆる主要都市や地域においてカラフルなパレードが開催されます。なかには、プンタ・カナのカーニバルのように、3月の第1週まで続くものもあります。ラ・ベガのカーニバルが、最古にして最大規模で人気が高く、次にサンティアゴのカーニバルが続きます。そのほかにも、サントドミンゴ、モンテクリスティ、ポナオ、プエルト・プラタ、リオ・サンフアン、バラオナといった都市が、ユニークなカーニバルを開催します。コスチュームや仮面、象徴的なキャラクターがそれぞれの地域によって異なることから、ドミカ共和国の民間伝承の伝統や信仰が、国の人口と同様に多様であることが見てと



れます。

カーニバルのシーズンは、通常は、サンティアゴの活気に満ちた室内カーニバルであるガラショーでスタートし、2月27日の独立記念日の祝典にクライマックスを迎えます。その中でもっとも色鮮やかな行事が、最後のナショナル・カーニバル・パレードです。これは、首都サントドミンゴのウォーターフロントのマレコン通りで3月の第一日曜日に行われるもので、全国からカーニバルの団体やキャラクターが集結し、歓声を上げ、カーニバルを盛大に締めくくります。

どのカーニバルの町や都市にも個人で出向くことは可能ですが、2月中は、複数のツアー代理店が、カーニバルの日帰り旅行（とくにラ・ベガのカーニバル向け）を開催しています。



アートと歴史

職人芸に関しても、ドミニカ共和国には芸術的な表現が豊富に存在します。ジュエリーには、アンバー、ラリマー、ボーン（骨）、ホーン（ツノ）、ココナツシェルで作られた作品があります。土、陶器、木材、皮、麻、グアノも、装飾、ジュエリー、宗教の用途など非常に多様な品や彫像を製作するための素材として役立っています。

ラムとビール

ドミニカ共和国のラムは、複数の大規模なブランドにより製造されています。もっとも人気が高いブランドは、ブルガルとバルセロの二つです。ロン・ベルムデスは19世紀にさかのぼり、ホワイトプレミアムとゴールデンプレミアムの種類があります。新商品のロン・マコリクスは、スパイス、パイナップル、ココ

ナツラムのフレーバーボトルにより近年人気を得ています。

国内で生産されているビールは数少ないですが、国内数か所で遭遇するクラフトビールはそのうちのひとつです。もっとも著名なブランドは、世界でも有名なプレジデンテビールで、これは1935年より、セルベセリア・ナショナル・ドミニカーナ（ドミニカビール製造会社）によって製造されているものです。プレジデンテライトや、高いアルコール度数（6%）の濃厚バージョンであるプレジデンテブラックといったブランドを提供しています。ドミニカ共和国では、コルマードと呼ばれる街角の売店あるいはレストランに行き、「ウナ・フリア（"una fria"）」（冷えたの）という、とても冷えて薄い氷の層に包まれたボトルを注文するのが習慣となっています。ジャンボサイズが小さい杯とともに出され、シェアします。その他には、ピルスナーベースのポエミアビールや、キスケジャビールがあります。

シガー

ドミニカ共和国は世界でもトップのプレミアム・シガー輸出国となっているため、シガー愛好家はこの国でその嗜好品を見つくるべを心得ています。タイノ族の時代までさかのぼるタバコの栽培は、カストロ政権から逃亡するために20世紀に定住したキューバのタバコ生産者によって発展しました。とりわけシバオ峡谷中央部における肥沃な大地が、最適な気温とあいまって、今日、ドミニカ共和国産のタバコは世界でも最も洗練されたタバコの一つとして認められています。

人気のあるブランドには、アルトゥロ・フエンテ、ダビドフ、ロメオ・イ・フリエタなどがあります。数多くのリゾート地が、有名なタバコ工場見学をオファーしています。最も有名な工場には、

サンティアゴのタバカレラ・ラ・アウロラやタバカレラ・ラ・フール・ドミニカナに加え、ラ・ロマーナのタバカレラ・ガルシアがあります。

音楽とナイトライフ

ドミニカ共和国の音楽文化は、多様で豊富なリズムとハーモニー、奏法であふれています。もっとも人気の高い音楽のジャンルには、ダンスに適した陽気なビートを伴うメレンゲ、バチャータ、「ソン(Son)」の歌があります。

音楽とダンスは、ドミニカ共和国の日々の生活に欠かせないものとなっています。ナイトライフやライブパフォーマンスのハブであるサントドミンゴでも、国の内陸部の小さな村でも、ドミニカン・ビートは街角の売店から地元のクラブまで鳴り響き、一方で人々は屋内のみならず公園や公共の場など屋外でも

踊ります。毎週金曜日と土曜日の夜、サントドミンゴのプラサ・デ・エスパーニャで民族音楽を体験しましょう。日曜日に、サンフランシスコの遺跡近くのソンとメレンゲバンドのライブで一晩を踊りあかしましょう。サンティアゴのダウントウンで飲み歩き、盛り上がりましょう。あるいは、メレンゲとバチャータがあふれるプエルト・プラタの「ドリンク」ラウンジを見つけましょう。ウォーターフロント沿いのさまざまなバーで夜明けまでパーティーできるカバレーテでは、ビーチのナイトライフは新しい意味を持つようになっています。プンタ・カナのきらびやかなナイトクラブやマリナは同様に人気があり、ハウスミュージックを次々と流し、洗練されたワインバーを提供します。

メレンゲは、ドミニカ共和国の国家舞踊です。音楽とダンスがこの国の文化においてあまりにも重要な部分を占めることから、2016年、ユネスコに無形文化遺産として認定されました。

ガストロノミー

ドミニカ共和国は、豊かで多面的な料理の歴史を持っています。ヨーロッパ、アフリカ、タイノ族その他文化の影響により、美味とアロマを持ったドミニカ食が生み出されました。

時間とともに、これらが他の文化と組み合わせたり、美味しいガストロノミーがもたらされ、その結果、ドミニカ共和国の風味は、世界中の他の国々と比べてもユニークなものとなっています。2017年には、イベロアメリカン・ガストロノミー学会およびロイヤルスパニッシュ・ガストロノミー学会が、首都サントドミンゴをカリブのガストロノミー文化の首都として宣言しました。



ドミニカを象徴する料理は「バンデーラ」(旗)と呼ばれ、白米と赤インゲン豆に一人前分の牛肉または鶏肉と、サラダあるいはトストーン(調理用グリーン・バナナをスライスして揚げたもの)を添えて調理され、ランチに出されるものです。モロとロクリオというお米料理、郷土料理として知られるサンコチョ(7種の異なる肉と野菜を入れたスープ)などの美味しいシチューやスープも、これに続く象徴的なドミニカ料理です。そのほかの伝統的な料理には、アソパオシチュー、子ヤギ肉の煮込み、マング(グリーン・バナナをゆでてすりつぶしたもの)キャセロール、パステレス・エン・オハス(バナナの葉に包んで料理された折り返しパイ)などのディッシュや、豚皮・鶏皮の唐揚げなどがあります。

ショッピング

ドミニカ共和国は、カリブ地域におけるショッピングの巨人です。ブルーモールやアゴラなど、サントドミンゴのショッピングモールのデザイナーズストアに立ち寄ってみましょう。または、プンタ・カナやラ・ロマーナの、一握りのドミニカブティックと外国ブティックでショッピングしましょう。地元の美術・工芸品はいたるところに存在しますが、よりすぐりの品々は、植民都市ギャラリーや、プエルト・プラタのパルケ・セントラル(中央公園)近くなど、街の中心部近くで見つかるでしょう。リゾートやマリナーナも、時間がない人にはさらなるオプションを提供します。あらゆる町に存在し、豊富なフルーツや野菜であふれんばかりのカラフルな青果物市場をぶら歩きましょう。アンバーやラリマーのジュエリー、シガー、チョコレート、コーヒー、または一瓶のママフアナ(ラム、赤ワイン、はちみつ、ハーブ、木の根で作られた地元のお酒)を買きましょう。



お店は通常、月曜日から土曜日まで営業しています。またショッピングモールは日曜日にも、短縮営業とはなりますが営業しています。

カジノ

賭け事が好き、またはカジノの雰囲気につかるのがお好みであれば、ドミニカ共和国の四大カジノのハブであるサントドミンゴ、プンタ・カナ、サンティアゴ、あるいはプエルト・プラタに出向きましょう。首都サントドミンゴのマレコン海岸通りに勢ぞろいするブランドホテルのほとんどが、包括的なカジノサービスを提供します。たびたびメレンゲのライブ音楽にのってドリングがふんだんに振る舞われるなか、ルーレット、ブラックジャック、あるいはポーカーやそのほかのオプションで腕試ししてみましょう。プエルト・プラタのオーシャン・ワールドのカジノは、キャバレースタイルのショー付きナイト・タイム・バーにもなりま

す。プンタ・カナが世界に誇る各リゾートが、カジノ娯楽を敷地内で提供し一晩中営業しています。サンティアゴの街の中心は夜間、カジノの看板でライトアップします。

スポーツ

野球は、ドミニカ共和国で圧倒的に好まれるスポーツです。試合や娯楽としてのみならず、国家の誇りとアイデンティティーの主な拠り所ともなっています。一般的に「ボール」と呼ばれるこのスポーツは、1800年代終わりにドミニカ共和国に上陸しました。1955年以来、ドミニカ共和国野球リーグ協会(LIDOM)は、競争激しく興奮を巻き起こすローカルゲームを全国で開催してきました。また、ドミニカ共和国は、米国以外では最大のメジャーリーグベースボール(MLB)選手の輩出国となってきました。マニー・ラミレス、ファン・マリシャル、ブラディミール・ゲレーロ、アルベルト・プホルス、ダビド・オルティス、ペドロ・マルティネスなどの有名なスター選手が挙げられます。

他にも、バスケットボール、ボクシング、バレーボールや様々なウォータースポーツも人気です。



ゴルフ

カリブの最も壮大なゴルフ目的地として知られるドミニカ共和国は、まぎれもない熱帯地方のゴルフ大国です。ドミニカのコースのうち少なくとも7つは、ゴルフウィークマガジン誌が選ぶカリブ地域・メキシコのトップ50のコースとして常に上位を占めています。これらのなかには、トップ10にランクインするプンタ・エスパルダや、ロス・コラレス(2018年のPGAツアーがドミニカ共和国で開催され、2021年まで続く予定)、カサ・デ・カンボのティース・オブ・ザ・ドッグなどが含まれます。ラ・ロマーナからプンタ・カナ、ファン・ドリオ、プエルト・プラタまで、86のオーシャンビューのホールを持つドミニカ共和国のゴルフコースは、海辺で、または緑が生い茂った内陸のコースでのティーオフタイムを提供します。また、これらのコースは、ゴルフコース設計者として高い評価を誇るピート・ダイ、ジャック・ニクラウス、ロバート・トレント・ジョーンズ、シニア、ゲーリー・プレーヤー、トム・ファジオ、ニック・プライス、グレッグ・ノルマンなどによる設計です。

結婚式

途切れることのない白砂のビーチが広がるロマンチックな景色と、いくつもの沿岸で幾多のリゾートを提供するドミニカ共和国は、結婚式の目的地として人気の国です。各ホテルは、結婚証明書に関するお手伝い、イベントプランナー・フォトグラファーの手配に加え、スパ・トリートメント、ウェディングケーキのカスタマイズ、ケータリング、音楽、フラワーアレンジメントその他詳細事項の手配など、結婚式のパッケージやサービスの提供を得意としています。このため、新郎新婦は、旅を楽しむことに専念できます。

GoDominicanRepublic.comに提示されている必要な書類の写しを、前もってお送りいただけます。カップルは、ドミニカ共和国到着時にその原本をご持参ください。すべての書類は認証され、公式翻訳者によってスペイン語に翻訳されなければなりません。

空港とクルーズ目的地

カリブ地域でトップの旅行先として、ドミニカ共和国は、地域で人気のハブとなっており、世界中の主要都市からのフライトがここで接続します。空港から全国の数多くのアトラクションへのアクセスが容易なため、到着・出発時の体験について、最高レベルの運営と、快適さと、安全性をお約束します。主要な国際空港は以下のとおりです。

サントドミンゴ:ラス・アメリカス国際空港(SDQ)は、首都サントドミンゴから30分のところにあり、観光地ボカ・チカとファン・ドリオに近接しています。

プンタ・カナ:プンタ・カナ国際空港(PUJ)は、プンタ・カナおよびカップ・カナ地区からわずか15分、ババロ、エル・コルテシート、アレナ・ゴルダ、マカオおよびウベロ・アルトのホテル地区から30分ほどの場所にあります。この空港における国際線の発着フライトの種類は、カリブ地域でも最も多くなっています。ターミナルは3つあり、そのすべてに特徴的なヤシの葉のわらぶき屋根と、発着便が眺められるインフィニティ・プールと、無料のWi-Fiと、(近い将来には)米国旅客に対するプレチェックサービスを取りそろえています。

プエルト・プラタ:グレゴリオ・ルペロン国際空港(POP)は、プエルト・プラタ国際空港としても知られており、北部の沿岸都市であるプエルト・プラタや、コフレシ、プラヤ・ドラダ、ソスア、カバレーテといった近隣の観光目的地からわずか20分の場所に位置しています。

ラ・ロマーナ:ラ・ロマーナ国際空港(LRM)は、カサ・デ・カンポ国際空港としても知られ、南東沿岸にあるカサ・デ・カンポ・リゾートからわずか10分、バイベからわずか20分の場所に位置しています。

サマナ:エル・カテイ国際空港(AZS)は、サマナ市内から30分の場所に位置し、ドミニカ共和国の名高い北東沿岸のコソン、ラス・テレーナスおよびポルティージョなどの目的地から45分の場所に位置しています。

サンティアゴ:エル・シバオ国際空港(STI)は、中部サンティアゴ市内から15分のところに位置し、近隣都市であるラ・ベガ、ハラバコア、コンスタンサ、サンフランシスコ・デ・マコリスおよびモカへの容易なアクセスを提供します。

ドミニカ共和国は、サントドミンゴ、ラ・ロマーナ、プエルト・プラタ、サマナ、プンタ・カナと、カリブ地域で最多のクルージング目的地数を誇ります。2017年には533のクルージング船と110万人以上の乗客が、米国のマイアミ、タンパ、フォートローダーデールなどのハブからドミニカ共和国を訪問しました。



お役立ち情報

位置と地理：ドミニカ共和国は、ハイチ共和国と共有する広大なイスパニョーラ島の東3分の2を占めます。面積は4万8442 KM2で、カリブ地域では2番目に大きな国です。

気候：ドミニカ共和国は、1年を通して、温暖で熱帯性の気候を享受しています。年間の平均気温は25～31℃となっています。比較的涼しい季節は11月から4月で、最も暖かい季節は5月から10月です。

言語：スペイン語が公用語となっていますが、驚くことに、ホテルや観光地のスタッフの大半が比較的上手に英語やフランス語、ドイツ語、イタリア語などを話します。旅行者が観光地ハブから外れた場所にも足をのばすのであれば、スペイン語の基本的なフレーズをいくつか学ぶと役立つでしょう。

通貨：ドミニカ・ペソ (RD\$) が公式通貨です。主要クレジットカードと米ドルが、国内の多くの観光地で使用可能です。ATMが国中ほとんどのリゾート地にあります。

タイムゾーン：ローカルタイムゾーンは、AST大西洋標準時（日本より13時間遅れ）で、サマータイムは実施していません。

電圧：110ボルト、60ヘルツで作動しています。

電話コード：国際アクセス番号は+1で、ローカルアクセス番号は+1809、829、849です。

交通の便：ドミニカ共和国からは、その主要空港から複数の接続便が発効しています。所要時間は、ニューヨークまでわずか4時間、また多くのヨーロッパの都市までは8時間となっています。

E入国条件：空路でドミニカ共和国に到着する訪問者の大半（日本、米国、カナダ、英国、EU、メキシコ、多くの南米諸国、イスラエルおよび韓国からの訪問者など）は、有効なパスポートのみで入国できます。

詳細につきましては、以下までお問合せください。

所在地

〒106 - 0031

東京都港区西麻布4-12-24第

38興和ビル904号室

電話

+81 3 3499-6020

電子メール

info@embadomjp.gob.do

所在地
〒106 - 0031
東京都港区西麻布4-12-24第
38興和ビル904号室

電話
+81 3 3499-6020

電子メール
info@embadomjp.gob.do
www.GoDominicanRepublic.com



Dominican Republic
Has it all

